

新井中央小だより

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/otayori/index.html>

No. 303

メールアドレス chuou@ac.city.myoko.niigata.jp

2025 (令和7) 年3月14日

有終の美を飾る

いちも これ つらぬ ～一を以って之を貫く～

令和6年度の新井中央小学校の教育活動も、あと1週間となりました。19日に終業式、そして21日に第34回卒業証書授与式が行われ、67人の6年生が卒業します。先週「6年生を送る会」を行いました。各学年の子どもたちが、6年生への「ありがとう」の思いをいっぱい表現していました。6年生も、ダンスなどで下級生に十分に御礼の気持ちを伝えました。また、6年生の「卒業プロジェクト」の計画により、最後の在校生との思い出づくりが行われています。今学校の中が「感謝の気持ちと言葉」があふれています。6年生の今までの下級生に対してしてきたことが想像以上のものだったことがよく分かりました。1～5年生は、6年生のことを頼もしく思っていたのでしょ。別れを惜しむ気持ちもよく理解できます。



さて、6年生を含め全校291名の児童には、今年度の「有終の美」を飾ってほしいです。最後までしっかりと物事をやり遂げ、美しく締めくくることが、子どもたちは、4月に各自が目標を立てて1年間の教育活動に取り組んできましたので、終業式まで、卒業式まで、自分らしくがんばり抜いてほしいです。また、学校としては、「自分もみんなも明るくうれしくよかったね」を合い言葉に取り組んできましたので、最後に、全員が「明るくうれしくよかったね」と感じて締めくくることが、まさに美と言えるでしょう。論語の中に、「一を以って之を貫く」があります。孔子は弟子に「一つのことを大事にして自分を貫く」ことの大切さを教えます。その一つのことは、「忠恕」と言われています。その「忠恕」とは、自分の良心に忠実・誠実であることと、他人に対する思いやりが深いことです。この「忠恕」こそ、当校の合い言葉「自分もみんなも明るくうれしくよかったね」につながります。子どもたちには、ぜひ「自分らしくがんばり、そして周囲のみんなに思いやりの気持ちをもって今年度を締めくくってほしい。」そんな気持ちでいっぱいです。

さて、今年度の教育活動は、地域の皆様、保護者の皆様からたくさんのご支援やご協力をいただきました。教育の目標は「人格の完成」であり、学校教育だけでなく、家庭教育、社会教育によって子どもたちが人格を完成していきます。この新井中央小学校は、見事に家庭と地域がつながり、それぞれが協力し合い、補完し合って教育活動を行っています。当校は、「人権教育、同和教育」を中核とした教育活動を展開していますが、その人権教育、同和教育「なかま」の時間にも地域・保護者の皆様から多数参加していただきました。また、さくらタイム（総合的な学習の時間）や生活科にも、地域の皆様から先生になっていただき、「ほんもの教育」を行うことができました。さらに、クラブ活動、放課後パワーアップ、本の読み聞かせ、学習センター飾り付け、ミシン、ちまきづくり、スキーなど、指導者として、ボランティアとして、地域の皆様からどれだけ助けていただいたか分かりません。教育活動の質が高まるだけでなく、地域の方とふれあい、子どもたちの社会性が育ちました。地域・保護者の皆様から賜った、ご協力とご厚情に、心よりの感謝を申し上げますとともに、子どもたちの健やかな成長と輝かしい未来を祈念いたします。これからも、新井中央小を、中央小の子どもたちを、どうぞよろしく願いいたします。（校長 小林 朋広）